

学生が海洋ごみで壁面アートスペースが提案



地元学生が海洋ごみでアート作品を制作——。22日にグラン

ドオープンを控えるJR高松駅の新駅ビル「TAKAMATSU ORNE」（高松市）の北館4階「ORNE ART GALLERY」に、香川短期大学デザイン・アートコースの学生が手掛けた壁面アートが目見えした。

1～2年生の有志約30人が約6カ月かけて制作した。33枚角のパネル36枚を使って、「瀬戸内海の穏やかな波」の中に丸亀うちわ、おいらなど讃岐の名産品を表現した。材料は香川県内の海岸を清掃しながら集めた。8日にパネルの設置作業が報道陣に公開された。写真。リーダ

TAKAMATSU ORNEで

ーを務めた2年生の平田文香さんは「見た時に何の形かクイズのように楽しみながら、環境問題にも思いをはせてほしい」と話した。

施設の環境設計などを手掛けたスペースがJR四国に提案して実現した。内田峻介スペース大阪本部クリエイティブ事業部企画デザイン部長は「『人と人、人とまちを繋ぐ』という施設のコンセプトからプロジェクトの着想を得た。デザインのプロを志す若者の活躍を後押しするとともに、地域の活性化につながれば」と期待を込めた。

